

<http://www.zenrosai.coop/web-zenrosai>

# zenrosai

WEB ZENROSAI 協力団体向けWEBマガジン  
誌面はWEBでもご覧いただけます。

2017.JAN Vol.96



第32回(2016年)全労済「子ども絵画コンクール」

〈テーマ〉地球にやさしい「私たちの花と緑の街」〔審査員特別賞〕宮原 早紀さん(大阪府・堺市立南八下小学校・4年)

## 巻頭特別インタビュー

全労済 中世古 廣司 理事長

全労済中央推進会議 新議長に聞く

全労済中央推進会議 神保 政史 議長

## 産別インタビュー

日本私鉄労働組合総連合会〔私鉄総連〕

広域労組における共済制度推進の実例〔第26回〕

凸版印刷労働組合

## ファイナンシャル・プランニング講座

地震保障を極めよう

## 全労済中央推進会議NEWS

2016年度 第1回常任委員会  
／第73回中央推進会議

訪問先のご近所グルメ

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

## 目次 CONTENTS

### 巻頭特別インタビュー

全労済創立60周年の年。

「Zetwork-60」を完遂し、次なる「新化」を目指す。

全労済 中世吉 廣司 理事長

4

### 全労済中央推進会議 新議長に聞く

個の時代だからこそ共助・共済を

全労済中央推進会議 神保 政史 議長

8

### 産別インタビュー

日本私鉄労働組合総連合会〔私鉄総連〕

中央執行委員長 田野辺 耕一 さん／中央執行委員 宮崎 功一 さん

10

### 全労済中央推進会議NEWS

2016年度 第1回常任委員会／第73回中央推進会議

14

### 広域労組における共済制度推進の実例〔第26回〕

凸版印刷労働組合

16

### ファイナンシャル・プランニング講座

地震保障を極めよう 生活経済研究所長野 事務局長 塚原 哲

20

### 訪問先のご近所グルメ

東京・芝 中国餐館 生駒軒／名古屋・熱田 焼肉 美奈登(みなと)

22

### zenrosai Vol.96

読者アンケート&プレゼント

23



あけまして  
おめでとうございます





れば「住まいの共済」や「団体生命共済」、また地域であれば「こくみん共済」という個別の共済制度を訴求するだけではできないことです。

あらゆる媒体を通じて、全労済とは「何か」というブランドをきちんとお伝えし、わかつていただく。労働組合をはじめとした協力団体の皆さんを含め、全国民に向けて「全労済とはこういう組織です」ということをアピールしていくことが必要ではないかと考えています。

このことは、共済と保険はどう違うのかということをわかつていただっこ

役職員一人ひとりが、全労済ブランドの伝道師になる。

——組合員・協力団体の皆さんに向けたブランドの発信についてどのように考えておられますか。

中世古●目に見えて形がわかる商品もありますが、私たちが組合員・協力団体の皆さんにお役に立とうとしている仕事はそうではありません。「共済」は、目には見えないものなので、この「共済」を取り扱う「人」で価値が決まると言つても過言ではありません。これまで、「全労済」というフレーズが一般労働者・消費者の皆さん意識に染み込むように、テレビCMをどんどん流してきました。テレビCMだけでなく新聞や雑誌など、ありとあらゆる媒体を用いて、全労済の共済制度は良いもの“という刷り込みを行つてきたのです。

ところが、時代は大きく変わり、インターネットやスマートフォンが普及し、テレビCMの影響力はかつての6割程度に落ちました。それに代わって口コ

全労済の  
新しいブランド価値を確立し、  
たすけあいの成果を明示する。

ことなのですね。  
全労済においても、役職員一人ひとりが全労済ブランドの伝道師となるような組織であつてほしいと思います。

精神にもとづいた全労済」というブランドを発信していきたいと考えます。事業の回復と常に健全な事業基盤の確立を果たすとともに、60年の歴史を糧に労働者福祉運動の原点に立ち返り、全労済の理念の実現を目指して、「Z-60」をぜひ完遂させたいと思います。

労働組合の皆さんには、利用者であり、出資者であり、経営者である。

織などの労働組合の方々に向けて、60周年のメッセージをお願いします。

精神にもとづいた全労済」というブランドを発信していきたいと考えます。事業の回復と共に健全な事業基盤の確立を果たすとともに、60年の歴史を糧に労働者福祉運動の原点に立ち返り、全労済の理念の実現を目指します。「Z-60」をぜひ完遂させたいと思います。

ミが多大な影響力を持つようになったのです。いま消費者の皆さんは何を頼りに物を買うかというと、家族、友人、ブログ、SNSなどでの評判です。テレビCMより口コミのほうが購買意欲をそそるようになったのですね。

こうした今日の状況について、私は

ミが多大な影響力を持つようになったのです。いま消費者の皆さんは何を頼りに物を買うかというと、家族、友人、ブログ、SNSなどでの評判です。テレビCMより口コミのほうが購買意欲をそそるようになつたのですね。

こうした今日の状況について、私はかつていた職場の入社式での役員挨拶のことを思い起こします。その役員は新入社員に、「君たちはこの

かつては職場の入社式での役員挨拶のことを思い起こします。その役員は新入社員に対して、「君たちに3つのお願いがある」と言いました。1つ目は、良い会社に入ったと思ってもらいたいこと。2つ目は、そう思つたら今日家に帰つて、良い会社に入ったと両親や家族に言つてもらいたいということ。3つ目は、それを聞いた両親、家族から隣近所、親戚縁者、そしてあらゆる知人に「あの会社は良い会社だ」と言つてもらいたい、という話です。

つまり、社員がブランドの伝道師になるということです。社員が「良い会社に入った」と思つてくれたなら、それを口コミで広げていこうということなのです。

全労済においても、役職員一人ひとりが全労済ブランドの伝道師となるような組織であつてほしいと思います。

全労済の  
新しいブランド価値を確立し、  
たすけあいの成果を明示する。

共済と保険の違いがわかりません。共

中世古●かつて、全労済では、中央推進会議の会員には全労省運動会員、

「Z-60」は全労済内部の改革です。

当事者であると同時に、利用者であり、出資者であり、経営者であると言つていました。私自身、今日でもその通りだと思っていますが、それがいつの間にか希薄化してしまっているのではないかと感じています。そのことを、私たちは中央推進会議の構成組織をはじめとする労働組合の皆さんに対し、労働者自主福祉運動を担う当事者であることを改めてご理解いただくとともに、そのことが目に見える形で運動をすすめていきたいと思います。

「Z-60」でも共感と信頼、そして参加をもつて、より魅力的な「保障の生協」をめざすことが掲げられています。中央推進会議に参画ただいて

本当に改革が可能なのかと危惧する人もいるでしょう。しかし、その危惧を払拭する出来事がありました。2016年8月30日の第123回通常総会で第3号議案〔Z-60〕組織改革実行プログラム承認の件が承認されたとき、私は少なからず感動を感じました。この二年あまりの間、各事業本部に出向いて様々な議論を積み重ね、その結果全会一致で可決できたのです。同時に、一年かけてきちんと手順を踏んできたからこそ、組織改革実行プログラムについて予定通りに総会での確認が実現できたということもあります。この経過を役職員の皆さんを見て感じたところがあつたとすれば、そこにも意識改革が存在したはずです。

全労済における内部改革である「Z-60」をさらに外部改革に発展させるのが2018年度以降の「New-Zetwork」となります。この内部と外部の両改革がしつかりとかみ合って、一大改革が実現すると確信しています。言い換えると、「Z-60」の延長線上に次の「New-Zetwork」があります。これだけの時間をかけたいただきたいと思います。

組合員・協力団体の皆さんに向けた  
ブランド発信と、全労済の役職員に  
向けたブランド伝達、すなわち意識  
改革とを、同時にすすめていかなけ  
ればなりません。

組合員・協力団体の皆さんに向けた  
ブランド発信と、全労済の役職員に  
向けたブランド伝達、すなわち意識  
改革とを、同時にすすめていかなけ  
ればなりません。

それを明示していく、ということです。  
そして、現在よりさらに事業を通  
じて、組合員・協力団体の皆さんやそれ  
以外の方々からも「全労済  
は大きく変わった」と言つてもらえる  
ようになりたいと思います。

中世古●全労済の新しいブランド価値を確立することだと考えています。役職員にとつては求心力があり、同時に社会に貢献することも考えていました。いずれにについても、2018年度以降の次期中期経営政策(New Zetwork)の中で戦略を練つてまいります。

時は社会に対しても発信力のあるブランドを創りあげるのであります。それは、単に共済に加入してもらって、事業を回復できたらそれで――最後に今年の抱負をお聞かせください。

よし、というものではありません。自然災害時の共済金などのお支払い金額の多寡でもありません。組合員・協力団体の皆さんにたすけあいの運動に参画していただいた結果、何ができたか、このことをきちんと報告すること。それと同時に、大規模自然災害に対する共済金などのお支払い金額だけでなく、組合員・協力団体の皆さん、そして社会の皆さんにお役立たれの皆さんにとっても、全労済が「新生・全労済」として生まれ変わることだと思います。

中世古●創立60周年は人でいえば還暦です。前例を排して大胆に生まれ変わらなければならないと思つてます。単なる通過点で終わらせず、数年後に創立60周年を振り返つたときに、レガシー（遺産）になるようなものを残したい。そして、組合員・協力団体の皆さんや全労済の役職員、いずれの皆さんにとっても、全労済がための一年間にしたいと思います。

たすけあいの精神は貰って全効  
済の共済に加入していただいた皆さん  
に、「自分たちがたすけあいの一助  
になつて いる」という事実をきちんと  
明示し、その価値を共有しあえるよ

## 聞き手

全労済 調査役 渡邊 幸一

# 全労済中央推進会議 新議長に聞く



## 個の時代だからこそ共助・共済を

全労済中央推進会議 議長  
神保 政史(じんぽ まさし)さん

電機連合 書記長【出身労組:三菱電機労働組合】

プロフィール ● 2000年~2001年 三菱電機労働組合本社支部 委員長  
2002年 三菱電機関連労働組合連合会 事務局長  
2003年~2007年 三菱電機労働組合 中央書記長  
2008年~2009年 三菱電機労働組合 中央副執行委員長  
2010年~2013年 三菱電機関連労働組合連合会 会長  
2014年~2015年 三菱電機労働組合 中央執行委員長  
2016年~ 電機連合 副中央執行委員長  
電機連合 書記長

出 職 信 息  
地 ● 東京都  
歴 ● 三菱電機株本社電力事業部(発電プラントの営業・業務など)  
条 ● 「継続は力なり」(高校時代のバレー部の恩師から頂いた言葉)  
味 ● 読書・スポーツ

全労済中央推進会議の新議長に、神保政史さんが就任されました。  
共済運動における現在の課題、構成組織や全労済に望むこと、全労済中央推進会議のこれからについてお話を伺いました。

——これまでの労働運動を振り返つて、印象に残っている出来事やご苦労されたことをお聞かせください。

に制度の良さや背景などを説明しても、なかなか理解してもらえず、加入に結びつきませんでした。そこで、まず組合役員が保障設計を勉強し、全労済にも協力してもらい、保障の相談会を実施しました。組合員から、加入している保険証券と委任状を提出してもらい、組合役員が保険会社の窓口まで出向き、生涯保険料の総額などを算出していました。そして組合員に独自共済の優位性などを理解・納得してもらつたうえで、加入してもらうことができました。苦労はしましたが、達成感を味わうことことができました。

この共済運動の取り組みにより、全組合員に直接アプローチする機会が増え、信頼関係を築くことができました。組合員からも「加入して良かった」という声が聞かれ、現在でも加入率が高いので、この共済制度を導入してよかったです。しかし、課題がないわけではありません。年齢構成が変化していること、その後、様々な保障商品が出て、以前と比べると独自共済の優位性が見出します。組合員の可処分所得を向上させ続けるために、どういう環境下でもこの共済制度をしっかりと守つていかなければならぬと思っています。

——労働者自主福祉運動の一つである共済について、現在、どのような課題があるとお考えですか。

神保 ● 昨今、行動様式が「集団」から「個」に変わってきています。「みんなで集まって仲間意識」ということがなかなか通じなくなりつつある時代だと思っているので、対個人への丁寧さが求められると感じています。固定概念にとらわれず、その時代に合わせて考え方や手法も変えていかなければなりません。

「集団」から「個」の時代に変わってきたということは、「共助」や「共済」という考え方にも影響してきています。

しかし、「個」が行き過ぎたために、色々な不安要素を多くの人達が抱えようになつてきました。育児や介護で、独りで悩みを抱えてしまい、不幸な事件も起こっています。今こそ「共助の精神」や「共済の理念」が必要とされ、改めてその価値を見つめ直す時代に入っている、と認識することが極めて重要なことがあります。

——全労済中央推進会議議長の立場で、改めて「共済とは何か」をみんなで共有すべき

神保 ● 私の出身組合は三菱電機労働組合です。三菱電機は1998年から2004年頃まで企業存続の危機といわれたほど、経営が厳しくなりました。その時、組合役員だった私に、私の労働運動の原点にもつてあります。

当時、会社では構造改革が進められ、社内に限らず他社とも事業再編が行われて、組合員の異動がかなりありました。三菱電機労使は労使協議を重んじておらず、新しい事業の必要性、妥当性、そして将来どうなるか、それに伴つて組合員の労働条件がどうなるか、などを労使で協議します。その一方で、労働組合として重視してきた異動の対象となる組合員との対話があり、これらが同時に並行的に行われたので、当時は相当大変だった思い出があります。

事業再編には人的施策を伴うものもあります。労働諸条件に影響するものもあります。労使協議の内容を組合員にどう伝えて理解してもらうか、その合意形成にできるだけ多くの意見が出ます。

神保 ● 共済運動と労働運動はそのベースが同じだということを改めて考えることが、今の課題は何かといふことに通じると思います。全労済の課題は、おそらく労働組合にとつても課題であり、「共済とは何か」をもう一度原点に立ち戻つて、全員で共有し直し、共有し合う必要があると感じます。

共済は保険ではありません。共済に加入した組合員がお互いにたすけあう精神を礎とし、組合員の暮らしの安全・安心や生活の質の向上を目指しているのです。組織を成長させていくためには契約高や口数を上げていかなければなりませんが、手段が目的化し、先行していつては問題です。共済運動の原点は何だったのか、改めてみんなでベクトルを合わせることが大事だと思います。それをして組合役員が認識し、たすけあいの精神が込められた共済をツールにして取り組んではいけば、組合役員の成長にもつながり、組織が強固になっていくと思います。

神保 ● 各構成組織は生い立ちなど、色々な事情も異なるので、想いも異なります。そうした中であつても、いかに想いを共有させていくことができるのか、努力を惜しまずにつながりたいと思います。

全労済運動の取り組みを頑張っている構成組織には、さらに全労済中央推進会議全体を引っ張っていくんだという想いで進めていただきたいと思います。それには、共済運動の原点を共有し合うことが大事だと思います。構成組織同士および全労済との連携等、ネットワークをより強固にして活動を進めていくことに力を尽くしたいと思います。

——全労済に望むことは、同じ想いを共有してほしいと思います。やもすると、全労済の皆さんには気を使い過ぎる

雇用と技術・技能を「守ること」に尽力

の労力と時間をかけるよう努めました。その際、組合が一番大事にしたのは「雇用を守る」ということです。それに他の事業にシフトするか、労使双方で知恵を絞りました。

また、雇用を守るために賃金カットをするのではなく、無給休暇という仕組みを作りました。これは組合員一人一人の労働価値を下げないためと考えた施策です。組合員との対話の中では厳しい意見もありましたが、雇用、そして技術・技能を守ることを大切にしてきたことは今でも良かったと思っています。

——支部・単組・労連時代における共済とのかかわりについてお聞かせください。

神保 ● 三菱電機労働組合では、組合として共済を立ち上げています。これ

は、景気が低迷するなかで、組合員の可処分所得をいかに向上させるか

を考えて作った共済で、1998年

にスタートしました。共済の維持・発展には多くの組合員に利用していました

が、雇用があります。しかし、組合員

が、雇用、そして技術・技能を守ることを大切にしてきたことは今でも良かったと思っています。

職場から離れることになる50人のこ

れまでの技術・技能をどう生かすか、いかに他の事業にシフトするか、労使双方で知恵を絞りました。

また、雇用を守るために賃金カットをするのではなく、無給休暇という仕組みを作りました。これは組合員一人一人の労働価値を下げないためと考えた施策です。組合員との対話の中では厳しい意見もありましたが、雇用、そして技術・技能を守ることを大切にしてきたことは今でも良かったと思っています。

職場から離れることになる50人のこ

れまでの技術・技能をどう生かすか、いかに他の事業にシフトするか、労使双方で知恵

# 産別インタビュー

日本私鉄労働組合総連合会

中央執行委員長に聞く

## 日本私鉄労働組合総連合会

中央執行委員長

田野辺 耕一さん

# 生活と雇用、労働条件の維持・改善と平和な社会へ

統一団体生命共済発足で益々力強く進む

——日本私鉄労働組合総連合会とはどのような組織ですか。

ワークを作り、共有し分かちあいながら、力を合わせて、多くの課題を克服してきました。

田野辺●日本私鉄労働組合総連合会(私鉄総連)は、1947年に、全国の民営鉄道・バス関係労働組合の連合体として結成された産業別組合です。私鉄・バスだけでなく、ハイヤー・タクシー、その他様々な職種の皆さんと手を携えて活動しており、現在、全国236組合、約10万人の組合員が加盟しています。結成以来、今日まで70年近い歴史の中で、生活と雇用、労働条件の維持・改善と平和な社会を築く運動を一貫して進めてきました。組合員の求める課題を現実にするためには、一組合だけの運動にとどまつては難しいとの思いから、北は北海道、南は九州・沖縄までのネット

——田野辺さんは昨年8月の定期大会で、15代目の中央執行委員長に選出されたのですね。自己紹介をしていただけますでしょうか。

田野辺●私は1960年12月生まれです。60年といえば安保闘争の年であります。今まで、そのせいか自分の中では特に、平和に対して強い想いを持つています。

1979年に東武鉄道株式会社に入社し、まず駅員として池袋駅に配属されました。その後、20歳で電車運転士試験に合格し、40歳で組合の専従役員になるまでの20年間、運転士

をしていました。

組合については、職場にいた頃から青年部などの活動に参加していました。東武鉄道労働組合の栃木支部で執行委員と支部長をやり、組合本部で副委員長を2年。その後、私鉄総連へ派遣され、組織教宣局長、書記長を経て、昨年の夏、中央執行委員長に選出されました。

——全労済をご担当されている宮崎さんも、自己紹介をお願いできますか。

宮崎●私は1967年5月生まれです。1986年に、関西の近畿日本鉄道株式会社に入社しました。駅業務一筋で、2003年に助役登用試験に合格して助役を拝命しました。

2008年に近畿日本鉄道労働

組合の専従となり、執行委員として組織部長、庶務財政部長を務めました。その後、私鉄関西地方連合会へ派遣され、庶務財政部長兼調査部長として2期4年間務めました。昨年の定期大会で私鉄総連中央執行委員に選出されたまわり、政策政策局長、鉄軌対策部長を拝命し、併せて全労済担当も務めています。

——お一人の共済に対する想いをお聞かせください。

田野辺●私は運転士を20年間やつてきましたので、時間に非常に敏感です。未だに、しょっちゅう時計を確認する習慣があるほどです。しかし、労働組合の仕事は時間よりも中身が大事で、「安心して暮らしていく社会をめざしていく」という大きなテーマが

ある一方で、足もとに目を向ければ、組合員の安定した生活と雇用を守つていかなければなりません。特に最近の春闘ではなかなか大幅な賃上げができず、厳しい状況があります。少子高齢化、人口減少など、産業を取り巻く環境も厳しく、取り組むべき課題は山積しております。

そうした中で、全労済の団体生命共済、火災共済、マイカー共済などの制度は、組合員の生活と雇用を守る手段の一つとして、非常に重要だと思っています。可処分所得が減つてる時代にもかかわらず、低廉な掛金で充実した保障を得られることは素晴らしいことです。労働組合として、多くの組合員にそういう制度に入れていただけるよう、全労済の皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思っています。

私の出身単組である東武鉄道労働

組合では、全労済・労金はある意味セットになつていて、職場に配属された段階で、自然に入るものだという慣例が、私が入社した36年ぐらい前には既にありました。ですから、団体生命共済の全員一律加入制度も、最初は20口から30口、そこから50口に引き上げて、と自然な流れで取り組みをすすめきました。この全員一律加入制度のよさについても、長い年月

田野辺●そうですね、団体生命共済

の制度は、私鉄総連の取り組みの

——私鉄総連は、この1月に、統一

団体生命共済を発足されますが、やはり組合員の皆さんから、強い要望があつたのでしょうか。



日本私鉄労働組合総連合会 中央執行委員長

田野辺 耕一(たのべ こういち)さん

プロフィール 1979年 東武鉄道株式会社 入社

2000年 東武交通労働組合栃木支部 執行委員

2008年 東武鉄道労働組合本部 副執行委員長

2010年 日本私鉄労働組合総連合会 中央執行委員

2012年 日本私鉄労働組合総連合会 書記長

2016年 日本私鉄労働組合総連合会 中央執行委員長

出身地 栃木県鹿沼市 趣味 映画鑑賞



日本私鉄労働組合総連合会 中央執行委員長

宮崎 功一(みやざき こういち)さん

プロフィール

1986年 近畿日本鉄道株式会社 入社

2008年 近畿日本鉄道労働組合 執行委員

2012年 日本私鉄労働組合関西地方連合会 執行委員

2016年 日本私鉄労働組合総連合会 中央執行委員

出身地 奈良県大和高田市 趣味 釣り

田野辺●私は運転士を20年間やつてきましたので、時間に非常に敏感です。未だに、しょっちゅう時計を確認する習慣があるほどです。しかし、労働組合の仕事は時間よりも中身が大事で、「安心して暮らしていく社会をめざしていく」という大きなテーマが

ある一方で、足もとに目を向ければ、組合員の安定した生活と雇用を守つていかなければなりません。特に最近の春闘ではなかなか大幅な賃上げができず、厳しい状況があります。少子高齢化、人口減少など、産業を取り巻く環境も厳しく、取り組むべき課題は山積しております。

そうした中で、全労済の団体生命共済、火災共済、マイカー共済などの制度は、組合員の生活と雇用を守る手段の一つとして、非常に重要だと思っています。可処分所得が減つてる時代にもかかわらず、低廉な掛金で充実した保障を得られることは素晴らしいことです。労働組合として、多くの組合員にそういう制度に入れていただけるよう、全労済の皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思っています。

私の出身単組である東武鉄道労働

組合では、全労済・労金はある意味

セットになつていて、職場に配属された段階で、自然に入るものだという慣例が、私が入社した36年ぐらい前には既にありました。ですから、団体

生命共済の全員一律加入制度も、最初は20口から30口、そこから50口に引き上げて、と自然な流れで取り組みをすすめきました。この全員一律加入制度のよさについても、長い年月

田野辺●そうですね、団体生命共済

の制度は、私鉄総連の取り組みの

——私鉄総連は、この1月に、統一

団体生命共済を発足されますが、やはり組合員の皆さんから、強い要望があつたのでしょうか。

田野辺●そうですね、団体生命共済

の制度は、私鉄総連の取り組みの

——私鉄総連は、この1月に、統一

</div

中でも非常に重要な位置にあります。ので、準備期間も含めて約2年間に渡り、議論を積み重ねてきました。

特に多かったのは、「是非ともこの統一制度を早く作ってほしい」という地方からの要望でした。

というのも、昨今、全国的に、自然災害が多発しており、我々の組合員でも被災された方が少なからずおられるからです。そういう中で、「全労済の共済に入っていて本当に良かった」「たすかった」という声が、実際に数多くあがっています。

統一制度を発足させるからには、都市部も地方も、この制度の良さを、充分理解してもらいたい。この制度があつて良かった。この制度を持つている私鉄総連の組合員で良かったと感じていただけるようなものには是非ともしたいと思っています。

——ここのに至るまでは、様々な苦労もあつたのではないですか。

田野辺　私鉄総連には9つの地連があるのですが、地連によって取り組み方の歴史があり、違いもありますので、そこは苦労しましたね。保障内容を1つに合せるのはなかなか大変で、会議でも、全員一律加入の口数や掛金について、実に色々な意見がありました。

宮崎　全労済は組合員からの連絡を受付してから共済金の支払いまでの対応も素早く、頼りになると感じています。日本各地で自然災害が相次いでいますが、全労済は初動体制も素晴らしい、熊本地震が起きた際に

ただ、個々の組合員の理解なくしては、統一制度に結集していただくことは厳しいので、それぞれの加盟組合・構成組織で会議を開催したり、地連が会議を開催したりして、時間をかけて理解の浸透をすすめました。

特に加盟組合・構成組織によっては、現行の取り組み内容を刷新しないで、そこへの理解を得るためにも時間が要しました。

しかしながら、団体生命共済という制度の良さについては、どの組合員もそして組合役員も理解してくれていますので、私鉄総連として最終的には、名前の通りの統一制度に仕上げなければならぬと思っています。

間を要しました。

しかしながら、団体生命共済という制度の良さについては、どの組合員も理解してくれています。私鉄総連として最終的には、名前の通りの統一制度に仕上げなければならぬと思っています。

——ここのに至るまでは、様々な苦労もあつたのではないですか。

田野辺　私鉄総連には9つの地連があるのですが、地連によって取り組み方の歴史があり、違いもありますので、そこは苦労しましたね。保障内容を1つに合せるのはなかなか大変で、会議でも、全員一律加入の口数や掛金について、実に色々な意見がありました。

そのうえで、この間の私鉄総連統一

も、すぐに駆けつけてくれたという話を聞いています。創立60年の節目を迎えた今後も、こうした姿勢を続けていけば、加入者も自然と増えて行くはずだと確信しています。

宮崎　私は関西地連で4年間、全労済の担当をしてきました。かつて、関西地連においても、各単組へ全員一律加入制度の取り組み提案があつたと聞いておりました。しかしながら、当時は関西地連としてまとめることはできなかつた…という経緯があります。しかし、団体生命共済については、有利な制度と認識していることから、地連のスケールメリットを活かした、関西地連独自の統一団体生命共済を諸先輩方が築き上げ、現在も引き継がれています。

田野辺　私は関西地連で4年間、全労済の担当をしてきました。かつて、関西地連においても、各単組へ全員一律加入制度の取り組み提案があつたと聞いておりました。しかしながら、当時は関西地連としてまとめることはできなかつた…という経緯があります。しかし、団体生命共済については、有利な制度と認識していることから、地連のスケールメリットを活かした、関西地連独自の統一団体生命共済を諸先輩方が築き上げ、現在も引き継がれています。

——ここのに至るまでは、様々な苦労もあつたのではないですか。

田野辺　昨今、日本だけでなく、世界中で、思いもよらなかつたことが起きていました。2016年には、EUから英國が離脱することが決まり、アメリカ大統領選挙では、世界の予想に反してトランプ氏が選出されました。トランプ氏がアメリカ大統領に就任することの影響は今後、はかり知れません。一方で、日本国内の政治は、本当に国民のためになつてゐるかという疑問もあります。政治、経済、社会の仕組みは一直線につながつており、日本の将来のために、我々の産業が直面する課題も今後大きくなつ

制度導入に向けた議論において、産別のスケールメリットを保障内容や掛金に活かした優れた制度であるとの認識は共通しているものの、導入条件としている全員一律加入30口という部分がハーダルになつてゐる組合もあるという印象でした。

私鉄総連で担当となつてからは、各職場へオルグに入り、組合員全員と対話して取り組んだある組合から「100%ではないものの、60～70%の組合員が理解し、納得してもらえているが、これで導入はできないのか？」と尋ねられたことがあります。やはり統一制度の入口は全員100%という部分がありました。の組合員が理解し、納得してもらえているが、これで導入はできないのか？」と尋ねられたことがあります。やはり統一制度の入口は全員100%という部分がありました。の組合員が理解し、納得してもらえているが、これで導入はできないのか？」と尋ねられたことがあります。

各職場へオルグに入り、組合員全員と対話して取り組んだある組合から「100%ではないものの、60～70%の組合員が理解し、納得してもらえているが、これで導入はできないのか？」と尋ねられたことがあります。やはり統一制度の入口は全員100%という部分がありました。の組合員が理解し、納得してもらえているが、これで導入はできないのか？」と尋ねられたことがあります。

——全労済は今年、創立60年の節目の年を迎えます。それに向けて、ご要望などありましたらお聞かせください。

田野辺　「全労済といえば、○○」というように、関連するイメージや言葉がパッと浮かぶようになるといいでね。たとえば「全労済といえば」たすけあい「みんなが加入することは、自分がたすけるだけでなく、仲間をたすけることになる」というイメージで、創立60年を迎えたこれからも、働く人たちを中心にして密接にたすけあえる全労済になつてほしいと思います。

田野辺　「全労済といえば、○○」というように、関連するイメージや言葉がパッと浮かぶようになるといいでね。たとえば「全労済といえば」たすけあい「みんなが加入することは、自分がたすけるだけでなく、仲間をたすけることになる」というイメージで、創立60年を迎えたこれからも、働く人たちを中心にして密接にたすけあえる全労済になつてほしいと思います。たすけあいの精神は、本当に重要なことです。昨今、自分さえ良ければといふ、個の時代になつてますが、こうした時代だからこそ、お互にたすけあう精神を、培つていてほしいと思つています。

——全労済の職員はどのように、組合員の皆さんに共済への理解を深めますか。

田野辺　あとは自賠責共済の課題を解決してほしいですね。多くの組合員が車を持つていますから、需要は高いと思います。生命や医療保障の各共済も大切ですが、自賠責共済への加入も是非推進できればと思います。ある組合では、組合役員が、自動車で通勤する組合員の自賠責共済の把握に努め、車検切れの時期が近付いた組合員に声をかける取り組みをしています。ういう取り組みやアイデアを、もつと共有できるようにしていきですね。

田野辺　昨今、日本だけでなく、世界中で、思いもよらなかつたことが起きていました。2016年には、EUから英國が離脱することが決まり、アメリカ大統領選挙では、世界の予想に反してトランプ氏が選出されました。トランプ氏がアメリカ大統領に就任することの影響は今後、はかり知れません。一方で、日本国内の政治は、本当に国民のためになつてゐるかという疑問もあります。政治、経済、社会の仕組みは一直線につながつており、日本の将来のために、我々の産業が直面する課題も今後大きくなつ

ていただいているお手伝いをさせていただいているか。

田野辺　地連の大会では必ず、全労済の各都道府県本部の本部長を来賓に招き、挨拶をしてもらっています。また、各加盟組合・構成組織も地元の支所から、支所長と担当の職員に来てもらい、お話ししてもらっています。

# 全労済中央推進会議

## NEWS

2016年度

### 第1回常任委員会

2016年10月21日(金)、12構成組織13名の出席により「2016年度第1回常任委員会」を全労済本部会館において開催しました。

#### 報告内容

##### ①「全労済中央推進会議 役員選出委員会」報告について

2015年度第1回役員選出委員会 中央推進会議議長である野中孝泰氏(電機連合・前書記長・現中央執行委員長)より議長退任の申し出がされ、後任の議長選出のため「全労済中央推進会議 2015年度第1回役員選出委員会」(2016年7月20日)が開催されました。後任の議長として、神保政史氏(電機連合・書記長)を選出・承認した旨の報告がされました。(表1)

②2016年度第1回役員選出委員会 中央推進会議副議長である吉岡正親氏(基幹労連・前中央副執行委員長)より副議長選出のため「全労済中央推進会議 2016年度第1回役員選出委員会」(2016年10月11日)が開催されました。後任の副議長選出のため「全労済中央推進会議議長である野中孝泰氏(電機連合・前書記長・現中央執行委員長)より議長退任の申し出がされ、後任の議長選出のため「全労済中央推進会議 2015年度第1回役員選出委員会」(2016年7月20日)が開催されました。後任の議長として、神保政史氏(電機連合・書記長)を選出・承認した旨の報告がされました。(表1)

#### 表1 ■全労済中央推進会議 議長・副議長

役職名	構成組織名	氏名
議長	電機連合	神保 政史
副議長	基幹労連	操谷 孝一
副議長	私鉄連連	清水 昭男

※太字は変更となった議長・副議長 (敬称略・順不同)

#### 表2 ■常任委員会 常任委員

役職名	構成組織名	氏名
委員長	JEC連合	酒向 清
副委員長	JAM	上野 啓治
副委員長	UAゼンセン	大瀬 直之
常任委員	電機連合	岡本 昌史
	JAM	相羽 迅人
	基幹労連	藤原 真之
	UAゼンセン	飛田 洋一
	私鉄連連	宮崎 功一
	JEC連合	宮原 雅仁
	自治労都市交評	栗原 勝
	交通労連	貫 正和
	全農林	渡邊 由一
	自治労全国一般評議会	亀崎 安弘
	全日本海員組合	竹内 崇
	全建連	西 雅史
	運輸労連	福本 明彦
	ゴム連合	藤田 直治
	全駐労	清水 千代宣
	全国港湾	市川 康太郎
	全電線	石井 直樹
	印刷労連	宍戸 良太
	新聞労連	高森 亮
	建交労	神田 豊和
	サービス連合	森 啓記
	自動車連	舟橋 史洋
	電力連合	今中 崇博

※太字は変更となった委員長・常任委員 (敬称略・順不同)

#### 表3 ■全労済中央推進会議 委員会

構成組織名	氏名
紙パ連合	佐藤 順一
セラミックス連合	加藤 芳基
全印連	谷村 年由
全司法	田中 年也
国税労組	矢澤 総士
全銀連合	小西 邦和

※変更となった中央推進会議委員のみ記載 (敬称略・順不同)

※全造船機械は2016年9月10日の大会をもって解散されました

日)が開催されました。後任の副議長として、操谷孝一氏(基幹労連・中央副執行委員長)を選出・承認した旨の報告がされました。(表1)

また、常任委員会 委員長である永芳栄始氏(JEC連合・前会長)より委員長退任の申し出がされ、「全労済中央推進会議運営要綱に基づき、後任の委員長として、酒向清氏(JEC連合・副会長)を選出・確認しました。(表2)

日)が開催されました。後任の副議長として、操谷孝一氏(基幹労連・中央副執行委員長)を選出・承認した旨の報告がされました。(表1)

また、常任委員会 委員長である永芳栄始氏(JEC連合・前会長)より委員長退任の申し出がされ、「全労済中央推進会議運営要綱に基づき、後任の委員長として、酒向清氏(JEC連合・副会長)を選出・確認しました。(表2)

### 第73回中央推進会議

2016年11月2日(水)、27構成組織31名の出席により「第73回中央推進会議」を全労済本部会館において開催しました。

●「全労済中央推進会議 2016年度 議事内容 取り組み状況と具体的活動に向けた火災災害時無保障者の解消に向けた火災



第73回中央推進会議



#### ●全労済中央推進会議「2016年度構成組織の実態調査および取り組み計画」について

50構成組織のうち、45構成組織から「構成組織の実態調査および取り組み計画」が提出されました。取り組みの見える化および情報共有を目的として、各構成組織の実態調査を行つたうえで、2016年度(2016年

・全労済中央推進会議「2016年度構成組織の実態調査および取り組み計画」について

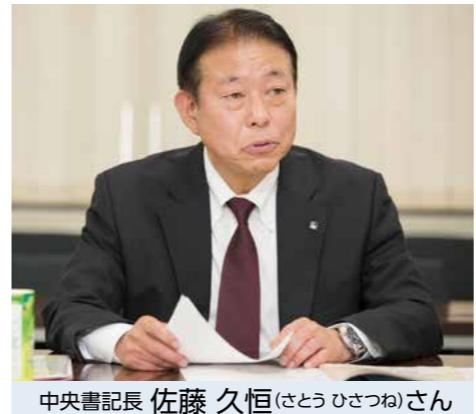
構成組織の実態調査および取り組み計画」が提出されました。取り組みの見える化および情報共有を目的として、各構成組織の実態調査を行つたうえで、2016年度(2016年

・全労済中央推進会議「2016年度構成組織の実態調査および取り組み計画」について





事務所風景



中央書記長 佐藤 久恒(さとう ひさつね)さん



印刷労連「アシスト」

佐藤副委員長 ● 毎年、新入社員の入社時に、労働組合も新入組合員説明会を実施しています。「労働組合とは

――新入組合員向けの「フレッシュ・シェアーズプラン」についてはいかがですか。

## 新入組合員に対する取り組み

「フレッシュ・シェアーズプラン」は非常に良いパッケージプランなのですが、その展開には大きなハードルが1つあります。それは、「アシスト」への加入は自分の意思でできますが、新団体年金共済だけは未成年の場合、親の同意が必要だということです。

これまでご両親のことはそれほど念頭にありませんでしたが、労働組合の活動を理解してもらうよい機会と捉え、お手紙を送ることにしました。そうすることで「フレッシュ・シェアーズプラン」への理解をいただくとともに、労働組合への信頼が生まれ、安心してわが子を任せられ、何か困りごとが起きたら、「労働組合があるんだから相談すればいいじゃないか」と言つてもらえるかもしないと考えたわけです。

この「お手紙作戦」は、最初はTCP支部で実施しました。その後全体の会議で紹介したので、今後は他の支部にも広がっていくと思います。佐藤書記長 ● 地方から来て独り暮らしをしている新入組合員の親御さんは、こういう手紙を見て安心するのではないかと思います。

佐藤副委員長 ● 今回初めてこの「作戦」を実施して、かつてないほど多勢の新入組合員の加入がありました。特に寮に入っている組合員には、家財に火災・自然災害保障を付ける重要性を説明したので、その成果もあつたと思います。



副中央執行委員長 佐藤 正治(さとうまさはる)さん

戦“を実施して、かつてないほど多勢の新入組合員の加入がありました。特に寮に入っている組合員には、家財に火災・自然災害保障を付ける重要性を説明したので、その成果もあつたと思います。

また、新入組合員説明会とは別に、「フレッシュ・シェアーズプラン」に特化しての先輩に声をかけて、「新人たちと一緒に話を聞いてやってください」という案内をしました。これには2つ狙いがあります。1つは自分の身近な先輩が誰かを、新入組合員に知つてもらうこと。もう1つは、先輩でまだ「アシスト」などに加入していない場合には、先輩自ら加入して、後輩の新人に対して模範を示してもらおうという意図です。

説明会では両者を取り持つように思っています。

ささらに、我々の内部で取り組む推進や新しい試みに、全労済からも協力していただければありがたいと思っています。

佐藤書記長 ● 1995年の阪神淡路大震災の時、私は凸版印刷労働組合大阪支部の書記長でした。その頃はまだ自然災害共済がなく、火災共済しかなかった時代でした。地震なので当然火災共済から共済金は出ないのですが、そのときの全労済の対応が非常にありがたかったことを今でも覚えています。

それは、全労済が被災者救援のため、「見舞金」を支給したことです。それもお見舞金にしては非常に素晴らしい内容の対応をしていただきました。この対応が、被災された組合員の皆さんにとても喜ばれたことが、強く記憶に残っています。

昨今、日本各地で様々な自然災害が起っています。全労済はこれまでも働く者の立場から、様々な取り組みを行つてきました。今年創立60周年を迎えると聞いていますが、これからも被災者や困っている方々に対して、全労済の基本理念である相互扶助の精神を忘れることがないことを願っています。

――本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。

釣本委員長 ● 新入組合員の歓迎会は、毎年各支部の青年委員がすべて企画・実施をしています。新人の組合員には、労働組合の存在価値や意義が見えにくくなっています。そんな中で、年齢の近い組合員同士が親しくなり、困りごとがあつたらお互いに極める予定です。

佐藤書記長 ● 新入組合員の歓迎会は、毎年各支部の青年委員がすべて企画・実施をしています。新人の組合員には、労働組合の存在価値や意義が見えにくくなっています。そんな中で、年齢の近い組合員同士が親しくなり、困りごとがあつたらお互いに極める予定です。

佐藤書記長 ● 日常的なことは、各支部の書記局と全労済県本部の各支所担当の方とで対応してくれていると思います。それにはそれぞれの県や支所の考え方ややり方があるでしょう。しかし、「アシスト」の募集や新入組合員の加入時期は、15支部・分会が一齊に取り組むことで、もつと加入率を上げられるのではないかでしょうか。その大事なときに、残念ながら支部間で取り組みに温度差もあると思っています。我々側の問題もありますが、そこを全労済と協力して何とかしていきたいのです。

また、本部主体で全国一齊に取り組むもののほかに、支部主体で日常的な共済制度の紹介や、相談窓口を設置して組合員密着型の推進を行う場合があります。この2つの取り組みがあります。この2つの取り組みがあります。

佐藤書記長 ● 日常的なことは、各支部の書記局と全労済県本部の各支所担当の方とで対応してくれていると思います。それにはそれぞれの県や支所の考え方ややり方があるでしょう。しかし、「アシスト」の募集や新入組合員の加入時期は、15支部・分会が一齊に取り組むことで、もつと加入率を上げられるのではないかでしょうか。その大事なときに、残念ながら支部間で取り組みに温度差もあると思っています。我々側の問題もありますが、そこを全労済と協力して何とかしていきたいのです。

また、本部主体で全国一齊に取り組むもののほかに、支部主体で日常的な共済制度の紹介や、相談窓口を設置して組合員密着型の推進を行う場合があります。この2つの取り組みがあります。

### 全労済事業推進担当 産別・広域推進一部 事業推進二課

#### 石橋 寛士

凸版印刷労働組合のスローガンに『One to One』があります。~「人と人」「人から人へ」とともに未来へ~という意味が籠められています。全労済の理念には「みんなでたすけあい~」という言葉があります。凸版印刷労働組合の執行部の方々は、これらの言葉を実践されています。私も同じ執行部の一員としての気持ちで、引き続き共済活動を通じてこれらの言葉を共に実践していきたいと考えています。



全労済 調査役 渡邊 幸一

しいと思います。

――本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。



フレッシュ・シェアーズ・プラン申込書



新入組合員向けパンフレット「新生活のココロエ」

## ファイナンシャル・プランニング講座

# 地震保障を極めよう

生活経済研究所長野 事務局長

CFP®認定者 塚原 哲

生活経済研究所長野 事務局長、投資助言・代理業

登録番号 関東財務局長(金商)第629号

1998年精密機器メーカーの労働組合役員に就任、2001年に労働組合専門のシンクタンク「生活経済研究所長野」を設立、2006年日本FP協会長野支部・支部長、2012年関東ブロック副ブロック長を歴任、2014年7月から日本FP協会評議員に就任。全国で労働組合関連団体のライフサポート活動の立ち上げに従事。



近年、自然災害の発生頻度が高くなっていますが、今は地震保障について共済と保険の特性の違いも踏まえて掘り下げましょう。まず、建物を再建する際にかかる再取得価額の算出方法には、「年次別指數法」と「新築費単価法」の2種類があります。

### 1 年次別指數法は物価を配慮

年次別指數法は主に損保各社が採用している基本的な方法で、①新築当時の建築価額、②建築年ごとに定められた指數を掛けて算出します。

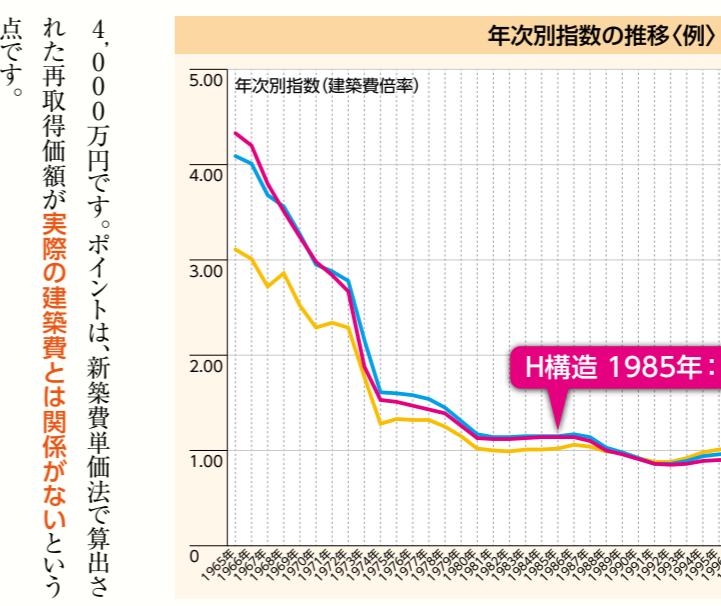
例えば、①新築(1985年)当時の建築価額が3,500万円で、②1985年の木造建物(H構造)の年次別指數が1.14の場合、再調達価額は $3,500 \text{万円} \times 1.14 = 3,990 \text{万円}$ となります。

今は、「新築当時は3,500万円で建てたけれども、今の物価は当時より14%上昇しているので3,990万円は必要」とみなしているわけです。新築建物であれば年次別指數は常に1.00、すなわち建築費そのものになります。

### 2 新築費単価法は3要素で算出

新築費単価法は主に共済団体が採用している簡便法で、全労済の住まいの共済(新火災共済・新自然災害共済)でも採用されています。①所在地、②床面積、③建物構造により建物の再取得価額が算出されます。

例えば、①東京都、②45坪、③木造の場合、全労済は3,600万円、鉄骨・耐火構造の場合、全労済は



4,000万円です。ポイントは、新築費単価法で算出された再取得価額が実際の建築費とは関係がないという点です。

約金額は実際の建築価額なので、それぞれ5,000万円、1,500万円が基本となります。が、地震保険の加入限度は50%までなので、それぞれ2,500万円、750万円となります。<sup>2</sup>

表1 年次別指數法と新築費単価法		
火災保障	年次別指數法 [損保各社等]	新築費単価法 [全労済]
高級住宅 5,000万円	5,000万円	3,600万円
ローコスト住宅 1,500万円	1,500万円	1,080万円

地震保障	地震保険	新自然災害共済
高級住宅 5,000万円	2,500万円	1,080万円
ローコスト住宅 1,500万円	750万円	450万円

※新築の場合。また、単価調整を考慮していません。

一方、共済団体は新築費単価法なので、①所在地、②床面積、③建物構造が同じなら、再取得価額も全て同じです。例えば全労済であれば、5,000万円の建物は3,600万円までしか加入できない一方で、1,500万円の建物でも3,600万円まで加入できる制度です。

全労済の地震保障は最大で火災保障の契約金額の30%(新自然災害共済(大型タイプ))までしか加入できません。地震保険の50%より見劣りするようと思われるが、先の1,500万円の建物について掘り下げるところが、先の1,500万円の建物について掘り下げるところが、先の1,500万円と450万円で合計1,530万円までカバーされます。<sup>2</sup>

先の1,500万円の建物であれば、実際の建築価額の102%相当まで地震保険に加入できる状況です。

### 4 誰から入るのかが大切

組合員は制度に詳しい人ばかりではありません。保障は加入している契約内容に誤解や誤認のない状況を確保しなければなりません。一番よくないのは「自分は支払いを受けられると思っていたら受け取れなかつた」という状況で、まずは「よくわからなければ、加入していくので支払いを受けられた」という形で譲つてあげるしかありません。したがって、詳しい組合員には新火災共済+新自然災害共済をお勧めし、詳しい組合員が自分でよく制度を理解しておくといいでしょう。

「保険」は誰でも契約できる商品であるのに対し、「共済」は組合員(仲間)でなければ加入ができないクローズドの制度です。つまり、共済は組合員の母集団の特性にあわせられるわけで、高額住宅に合わせた共済も、ローコスト住宅に合わせた共済も設計できます。現在の全労済の住まいの共済は、後者の制度設計ですので、その特徴も理解しておくといいでしょう。

さて、場所、広さ、構造が同じ家を新築するとしても建築価額は千差万別です。例えば東京都、床面積45坪、木造であっても、5,000万円の高級住宅もあれば、1,500万円のローコスト住宅もあります。

4,000万円です。ポイントは、新築費単価法で算出された再取得価額が実際の建築費とは関係がないという点です。

2:単価調整という方法で30%まで保障を増やす場合は、3,250万円、975万円まで 3:4人家族(世帯主35歳)

応募方法

編集部では皆さまのご意見やご要望を反映し、誌面の充実を図るため、読者アンケートを実施しています。ご応募いただいた方の中から抽選で10名様に「図書カード(1,000円分)」をプレゼントいたします。たくさんのご応募をお待ちしています。

- クイズとアンケートにお答えいただき、FAXで「zenrosai編集部宛」まで送信してください(2017年2月28日必着)。
- 「WEB-ZENROSAi」からもご応募いただけます。
- 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
- このページをコピーしたものを、FAXしていただいても構いません。

●FAX番号▶03-5351-7328

●WEB-ZENROSAiアドレス▶<http://www.zenrosai.coop/web-zenrosai>

クイズ

□の中に数字をお書きください。

全労済は今年9月29日に創立□□年を迎えます。

Q1 WEB版「WEB-ZENROSAi」をご覧になりましたか?

(□に✓印をつけてください)

- 見た
- まだ見ていない
- 身近にインターネットの環境がない

Q2 WEB版「WEB-ZENROSAi」について、どう思われますか。(複数回答可)

(□に✓印をつけてください)

- 多くの人が見ることができて良いと思う
- リアルタイムや双方向の情報発信に期待する
- 便利な機能を充実させて欲しい
- 情報の流出などが心配
- 見ることができないので関係ない

Q3 (WEB版について)冊子版と比べてのご感想をお聞かせください。(複数回答可)

(□に✓印をつけてください)

- パソコンから利用できて便利
- 便利な機能がたくさんあって良い
- 使い勝手が良くない
- アクセスしにくい
- 冊子の方が利用しやすい
- その他( )
- デザインが良い
- 見てないので分からぬ

Q4 今号の記事の中で興味を持たれた記事はありますか?(複数回答可)

(□に✓印をつけてください)

- 巻頭特別インタビュー
- 中央推進会議 新議長に聞く
- 産別インタビュー
- 全労済中央推進会議NEWS
- 広域労組における共済制度推進の実例
- ファイナンシャル・プランニング講座
- 訪問先のご近所グルメ
- 特になし

Q5 (冊子版について)内容についての総合的な満足度はどの程度ですか?

(□に✓印をつけてください)

- 満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 不満

Q6 上記「Q5」の理由や、その他ご意見があればご記入ください。

[ ]

お名前※	フリガナ	団体名	〒	ご住所※ ※郵便番号	電話番号( )	-
------	------	-----	---	---------------	---------	---

※は必須項目です。必ず記入ください。 ●個人情報の取り扱いについてご記入いただいた個人情報については、プレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。

FAX送信先 機関誌「zenrosai」編集部(全労済 産別・広域推進一部 推進企画課) FAX03-5351-7328 (番号のお間違いにご注意ください。)



全労済の推進担当が、  
協力団体からご紹介いただいた  
名店・隠れた穴場をレポートします。

東京・芝 中国餐館 生駒軒

私が  
オススメ  
します!

全労済 産別・広域推進一部 事業推進一課

吉兼 俊輔



全国交通運輸労働組合総連合(交通労連)よりご紹介いただきました。芝公園駅からほど近いお店です。おすすめは「しめじ麺」。大きめにカットされたしめじと各種野菜にとろみをつけた「あん」が、醤油ラーメンにかけてあります。しめじの風味がスープと相性が良く、「あん」が「麺」と絡み合ってとても美味しいです。流通量が少ない「平茸」を使用しており、提供されない日も。また、「麻婆豆腐」は甘さ控えめの自家製甜麺醤を使用。普通の麻婆豆腐よりとろみが強く、ご飯との相性も抜群です。「しめじ麺」も「麻婆豆腐」も季節を問わず食べたい一品です。ぜひ一度ご賞味ください。



zenrosai



おすすめの「しめじ麺」

☎03-3451-4318  
都営三田線「芝公園」駅 徒歩2分  
都営三田線「三田」駅 徒歩6分  
〒101-0052 東京都港区芝2-8-10  
〔営業時間〕ランチ●11:00~14:00  
ディナー●17:30~21:30  
〔定休日〕土・日・祝日

名古屋・熱田 焼肉 美奈登(みなと)

私が  
オススメ  
します!

全労済 産別・広域推進三部 事業推進課

板倉 充典



セラミックス産業労働組合連合会よりご紹介いただきました。事務所からすぐの、住宅街に突然現れるレトロな外観のお店です。食欲をそそる赤い「とんちゃん」の暖簾をくぐって、昭和感と肉を焼く煙があふれる店内へ。七輪と炭の組み合わせで、本格的なローストができるのが特徴です。人気メニューのホルモンやカルビ、ロースなどもいただきましたが、今回は特にサガリ(牛の横隔膜)が美味しかったです。タレは名古屋ならではの味噌ベースに、このお店で50年来となる秘伝の材料が加わって、肉に良く合う!味はもちろん、お値段もリーズナブルで、ぜひおすすめしたいお店です。



おすすめの「サガリ」

☎052-872-2022  
JR東海道本線「熱田」駅 徒歩17分  
名鉄名古屋本線「神宮前」駅 徒歩16分  
〒467-0879 愛知県名古屋市瑞穂区平郷町2-6  
〔営業時間〕16:30頃~22:00  
〔定休日〕月曜日・第3火曜日

“ご家族皆さまで楽しんでいただける”



# 全労済文化フェスティバル2017

会場 ■全労済ホール/スペース・ゼロ

「次代を担う子どもたちとそのご家族に、良質な文化芸術に触れ豊かな心を育んでいただきたい」…そんな願いを託し厳選した作品です。

各公演の詳細は、組合員特典ページをご覧ください。  
<https://www.zenrosai.coop/ss/member2/index.php>

トム・プロジェクトプロデュース

## 萩咲く頃に

3月21日(火) 14:00~  
3月22日(水) 19:00~  
3月23日(木) 14:00~  
3月24日(金) 19:00~  
3月25日(土) 14:00~  
3月26日(日) 14:00~

料金(消費税込) 全席指定

■一般前売 4,500円  
■一般当日 5,000円

★U-25(25歳以下) 2,000円  
★シニア(60歳以上) 4,000円



●作・演出  
ふたくちつよし

●出演  
音無美紀子  
藤澤志帆  
森川由樹  
西尾友樹  
大和田謙

※上演時間  
約2時間  
休憩なし

親子のための  
クラシックコンサート

## 音楽の绘本

3月29日(水) 14:00

料金(消費税込) 全席自由

■一般 2,000円  
■子ども 1,000円(3歳~小学生)  
■親子券 2,500円  
(大人1名・子ども1名)

※3歳未満のお子さまでも席が必要な場合はチケットが必要です。



出演 ●ズーラシアンプラス+弦うさぎ

うたって! おどって! つくって! えいごで! あそぼう!!

## わくわく! ファミリーステージ

4月1日(土) 11:30/15:00  
4月2日(日) 11:30/15:00

料金(消費税込) 全席自由

■一般 2,000円  
■子ども 1,000円(3歳~小学生)  
■親子券 2,500円(大人1名・子ども1名)

※3歳未満のお子さまでも  
席が必要な場合はチケットが必要です。



谷本賢一郎  
いとうまゆ  
久保田雅人  
花原あんり  
スコアトオ  
●構成・演出  
加藤宗弘

Zero Projectプロデュース2017

## ミュージカル 雪のプリンセス

4月5日(水) 19:00

4月6日(木) 19:00

4月7日(金) 14:00/19:00

4月8日(土) 12:00/17:00

4月9日(日) 12:00/17:00

料金(消費税込) 全席指定

SS席 — 8,500円(特典付)

S席 — 6,800円

こども — 4,800円(3歳~12歳)

※3歳未満の入場は原則としてご遠慮願います。



●脚本: 高橋知伽江  
●演出: 大杉 良  
●作曲・音楽監督: 片野真吾  
●出演: 高橋朱里(AKB48)  
酒井 蘭  
磯 理人  
小笠原 健  
津田英佑  
夏樹陽子  
峰 さおり ほか

オペラ

## オペラシアターこんにゃく座 タンク～まほうをかけられた舌～ + うたのステージ

\*同演目ダブルキャスト(A・B組)

4月12日(水) 19:00(A組)

4月13日(木) 19:00(B組)

4月14日(金) 15:00(A組)/19:00(B組)

4月15日(土) 13:00(B組)/17:00(A組)

4月16日(日) 11:00(A組)/15:00(B組)

オペラシアターこんにゃく座



●原作: 安房直子(岩崎書店刊)

●台本: 朝比奈尚行

●演出: 大石哲史

●出演: オペラシアターこんにゃく座  
井口真由子(pf)/湯田亜希(pf)

料金(消費税込)

全席指定

\*当時は500円/席増

\*子どもは

小学校6年生まで

おとな — 5,000円(当日 5,500円)

おとなペア(2席) — 9,000円(当日 10,000円)

U25(25歳以下) — 3,000円(当日 3,500円)

学生・こども — 2,000円(当日 2,500円)

おとなこどもペア(2席) — 6,500円(当日 7,500円)

組合員の皆さまへ  
お得な特典情報

ご招待 各作品に50組100名様をご招待いたします

応募多数の場合は  
抽選となります

応募方法 ①全労済ホームページ組合員特典ページから

<https://www.zenrosai.coop/ss/member2/index.php>

②往復はがき 住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望公演名と希望日時(往復はがき1通につき1公演2名様まで)を明記のうえ、右記事務局「Z招待係」宛にお送りください。

応募締切 2017年2月15日(水) (ホームページの場合は当日発信有効、はがきの場合は当日消印有効)

当選発表 2017年2月25日頃、ホームページの場合はeメール、往復はがきの場合は返信はがきにてご連絡いたします。

ご優待 チケット料金の20%引きにて販売いたします

販売枚数には  
限りがあります

申込方法 ①全労済ホームページの組合員特典ページから

<https://www.zenrosai.coop/ss/member2/index.php>

②はがき 住所・氏名(ふりがな)・電話番号・公演名・日時・枚数を明記のうえ、右記事務局「Z優待係」宛にお送りください。折り返し、事務局より代金のお支払やチケット受取方法の説明書などをご郵送いたします。

申込締切 はがきでの申込みはご観劇希望日の14日前までにお申ください。

※本企画で取得した個人情報については、本企画に関連する業務に限ってのみ使用いたします。

お申し込み・お問い合わせ

主催・全労済

TEL. 03-3375-8741 (平日10:00~17:00)

全労済文化フェスティバル事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-10

全労済会館B1

会場



至八王子  
文化服装学院  
京王新線6番出口  
ブーケ人形劇場  
全労済ホール  
スペース・ゼロ  
マクドナルド  
ファミリー  
マート  
至渋谷  
甲州街道  
至新宿  
南口  
新宿駅  
至四ツ谷  
至池袋  
カレーうどん屋  
ラミネ  
至南改札  
ミライナタワー改札  
至南改札  
至四ツ谷  
新宿駅南口徒歩5分